



令和 8 年度（2026 年度）

第 12 回 定 例 庁 議

令和 8 年 10 月 5 日（月）午前 8 時 30 分～
第一応接室（担当：総合戦略室 内線1111）

1 報告事項

- (1) 令和 7 年国勢調査の人口等基本集計結果について ……（総合戦略局）
- (2) 「DX・デジタル化推進に関する骨太の方針」のアップデートについて・（総合戦略局）
- (3) 令和 9 年度当初予算の編成方針について ……（財 政 部）
- (4) 令和 8 年度（第 46 回）松本市総合防災訓練の実施について ……（危機管理部）
- (5) 令和 8 年度松本市文化芸術表彰について ……（文化観光部）

庁 議 日 程 に つ い て

第 13 回定例庁議	10 月 20 日（火）	8 時 30 分～
第 14 回定例庁議	11 月 4 日（水）	8 時 30 分～

(報告事項)

庁 議 資 料
8. 1 0. 5
総 合 戦 略 局

令和 7 年国勢調査の人口等基本集計結果について

1 趣旨

令和 7 年国勢調査における人口等基本集計（確定値）が総務省統計局から公表されましたので、松本市の結果概要について報告するものです。

2 人口等基本集計（確定値）

- (1) 人口 232,241 人（男 113,453 人 女 118,788 人）
- (2) 世帯数 106,577 世帯
- (3) 前回との比較

項 目	令和 7 年				令和 2 年		人 口 比 較	
	世帯数	人口（人）			世帯数	人口総数 （人） B	増減数 （人） C=A-B	増減率 （%） D=C/B
		男	女	総数 A				
長野県（確定値）	846,050	955,761	998,105	1,953,866	832,097	2,048,011	△ 94,145	△ 4.60
松本市（確定値）	106,577	113,453	118,788	232,241	104,934	241,145	△ 8,904	△ 3.69
（旧松本市）	94,017	98,207	102,632	200,839	92,360	207,575	△ 6,736	△ 3.25
（四賀地区）	1,472	1,707	1,842	3,549	1,594	4,093	△ 544	△ 13.29
（安曇地区）	939	775	772	1,547	876	1,632	△ 85	△ 5.21
（奈川地区）	234	224	221	445	271	562	△ 117	△ 20.82
（梓川地区）	4,228	5,590	5,758	11,348	4,242	12,212	△ 864	△ 7.08
（波田地区）	5,687	6,950	7,563	14,513	5,591	15,071	△ 558	△ 3.70
松本市（速報値）	106,304	113,459	118,888	232,347	-	-	-	-

- (4) 長野県及び県内 19 市の人口等基本集計（確定値）の概要
別紙のとおり

3 結果数値の利用について

今後 5 年間、松本市の人口数値として使用されます。国、県への報告数値として令和 7 年国勢調査結果数値の指定がある場合に使用してください。

4 その他

- (1) 次期開催の市議会総務委員協議会に報告します。
- (2) 順次公表されるデータについて、様々な角度から分析を行います。
- (3) 令和7年国勢調査に係る人口等基本集計以外の調査結果公表予定日程

ア	移動人口の男女・年齢等集計	令和8年12月
イ	就業状態等基本集計	令和9年 3月
ウ	従業地・通学地による人口・就業状態等集計	// 5月
エ	移動人口の就業状態等集計	// 6月
オ	抽出詳細集計	// 11月

担当 DX推進本部

次長 折井 誠（内線1167）

令和7年国勢調査 長野県及び県内19市の人口等基本集計（確定値）の概要

1 長野県の人口と世帯数

地 域	令和7年		令和2年		人 口 比 較	
	世帯数 (世帯)	人口総数 (人) A	世帯数 (世帯)	人口総数 (人) B	増減数 (人) C = A - B	増減率 (%) D = C / B
長 野 県	846,050	1,953,866	832,097	2,048,011	△ 94,145	△ 4.6
市 部	687,592	1,573,624	675,354	1,644,462	△ 70,838	△ 4.3
郡 部	158,458	380,242	156,743	403,549	△ 23,307	△ 5.8

2 県内19市の人口と世帯数

(人口増減率の順に記載)

市 名	令和7年		令和2年		人 口 比 較	
	世帯数 (世帯)	人口総数 (人) A	世帯数 (世帯)	人口総数 (人) B	増減数 (人) C = A - B	増減率 (%) D = C / B
1 佐 久 市	42,039	97,017	39,924	98,199	△ 1,182	△ 1.2
2 小 諸 市	17,404	40,185	16,831	40,991	△ 806	△ 2.0
3 安 曇 野 市	38,174	91,794	36,491	94,222	△ 2,428	△ 2.6
4 塩 尻 市	28,689	65,442	27,997	67,241	△ 1,799	△ 2.7
5 千 曲 市	22,808	57,103	22,023	58,852	△ 1,749	△ 3.0
6 茅 野 市	25,003	54,409	23,848	56,400	△ 1,991	△ 3.5
7 須 坂 市	19,521	47,774	18,839	49,559	△ 1,785	△ 3.6
8 松 本 市	106,577	232,241	104,934	241,145	△ 8,904	△ 3.7
9 伊 那 市	27,138	63,508	26,238	66,125	△ 2,617	△ 4.0
10 駒 ケ 根 市	13,464	30,861	12,956	32,202	△ 1,341	△ 4.2
11 長 野 市	158,392	357,077	156,975	372,760	△ 15,683	△ 4.2
12 諏 訪 市	21,231	46,354	20,776	48,729	△ 2,375	△ 4.9
13 中 野 市	16,357	40,223	15,799	42,338	△ 2,115	△ 5.0
14 東 御 市	11,813	28,549	11,260	30,122	△ 1,573	△ 5.2
15 上 田 市	63,718	144,202	64,296	154,055	△ 9,853	△ 6.4
16 岡 谷 市	18,932	44,482	19,274	47,790	△ 3,308	△ 6.9
17 飯 田 市	38,703	90,765	38,903	98,164	△ 7,399	△ 7.5
18 大 町 市	10,563	23,956	10,739	26,029	△ 2,073	△ 8.0
19 飯 山 市	7,066	17,682	7,251	19,539	△ 1,857	△ 9.5

「DX・デジタル化推進に関する骨太の方針」のアップデートについて

1 趣旨

第12次基本計画等を踏まえた、「松本市DX・デジタル化推進に関する骨太の方針」のアップデートについて報告するものです。

2 経過

4. 2 骨太の方針を策定（以降、毎年アップデートを実施）

7. 3 議会からの政策提言を踏まえ、アップデートに合わせて、実行項目リスト（TASKLIST）を作成

3 アップデートの概要

第12次基本計画で、引き続き重点戦略に位置付け、「デジタルシティ松本」の更なるシンカを目指す中、使命（MISSION）、目指す姿（VISION）、共有する価値（VALUE）で示す、大きな方向性には変わりはありません。

一方、策定から5年が経過し、AIを始め、環境が大きく変わりつつあることから、時代の変化に合わせ、以下の項目、視点によりアップデートを行いました。

項 目	内 容
1 使命（MISSION） リード文	・ AIの急速な進化など、時代の変化に合わせて、リード文をアップデート
3 共有する価値（VALUE）	・ (1)～(7)の取組事例を、現在の取組みなどに合わせて修正 ・ (8)「さらに・・・」を、第12次基本計画で掲げる4つの視点を下支えする取組みとして整理
4 心構え（SPIRITS）	・ 「アナログの価値を大切に、人と人、人とまちをつなぐ」として、デジタル化の目的である考え方を追加
その他	・ フリー素材を使用していた、イラスト及びアイコン等を全て生成AIで作成し更新 ・ 関連計画等の参考資料を最新化
(別冊) TASKLIST	・ 実施計画第56号及び令和8年度予算の内容に合わせて最新化

4 今後の予定

(1) 次期開催の総務委員協議会に報告します。

(2) 各部局において、引き続き、骨太の方針の下、DX・デジタル化を推進してください。

担当 DX推進本部

次長 折井 誠（内線 54210）

庁 議 資 料
8. 1 0. 5
財 政 部

(報告事項)

令和9年度当初予算の編成方針について

令和9年度当初予算の編成方針について報告するものです。

記

- 1 令和9年度当初予算編成方針
別紙のとおり
- 2 庁内への周知について
庁内情報システムの掲示板により周知するものです。
- 3 令和9年度当初予算編成に係る市長訓示について
 - (1) 日時
令和8年10月6日(火) 16時30分から
 - (2) 会場
大会議室
 - (3) 参集範囲
市長部局及び教育委員会の課長級職員及び各部局庶務担当係長
※ 都合が付かず欠席する場合の代理出席は不要です。

担当 財政課
課長 宮澤 憲治
(内線1340)

令和9年度 当初予算編成方針

～インフレ時代のシンカに挑む～

松本市財政課

令和9年度当初予算編成方針

～インフレ時代のシンカに挑む～

1 予算編成に当たって

日本経済は、およそ30年にわたり続いたデフレから脱却し、インフレの時代へ転換しつつあり、値上げ・賃上げ・利上げの「3つの上げ」による構造変化の局面を迎えています。松本市としても、この変化を好機と捉え、新たな価値の創造に積極的に投資することで、賃金と物価がともに上昇する好循環を地域経済に定着させていく必要があります。

特にインフレ局面においては、判断の先送りそのものが実質的な負担増や機会の損失につながります。このことを強く認識したうえで、判断・決定・実行のスピードを一段と上げて業務にあたるのが、これからの時代において職員一人ひとりに求められる基本姿勢です。

こうした経済構造の転換に加え、人口減少・人口構造の変化という構造的課題にも直面しています。とりわけ若者や女性が挑戦し、安心して暮らし続けられる環境を整えることは、松本市の持続的発展に不可欠な視点です。また、グローバル化が進展する社会情勢を踏まえ、国際的な視座に立った施策を展開し、多様な人材や交流を呼び込むことで、都市としての価値を高めていくことも重要です。

こうした中、令和9年度は第12次基本計画の2年目にあたります。基本構想2030に掲げる「三ガク都に象徴される松本らしさを『シンカ』させる」取組みに磨きをかけるとともに、市民ニーズの変化や生成AIに代表される技術革新にも柔軟かつ機動的に対応していく必要があります。将来にわたって活力と魅力あふれる都市であり続けるため、限られた財源の中で都市としての社会的・経済的基盤を構築していく重要な年となります。

そこで、令和9年度の当初予算は、現状維持の発想に留まることなく、「一人ひとりが豊かさと幸せを実感できるまち」の実現に挑み続けるため、未来志向の投資と財政の持続可能性を両立させる予算とします。

2 経済の現状と今後の財政見通し

(1) 日本経済の状況と国の動向

前述の構造変化も踏まえ、我が国の景気は緩やかに回復しており、先行きについて

も、雇用・所得環境が緩やかに改善する中、物価上昇を上回る賃上げが国民所得の向上をもたらし、消費拡大を通じて経済全体の好循環につながることを期待されます。一方で、物価上昇、世界経済の不確実性、地政学リスク、金融資本市場の変動、自然災害等の影響には十分留意する必要があります。

こうした中、国は「経済財政運営と改革の基本方針2026」において、我が国の経済について、世界経済を取り巻く環境が大きく変動する中、企業所得は堅調に推移し、雇用者所得も名目・実質ともに増加しており、所得の増加が消費や投資を生み出す民間主導の循環が生まれつつあると分析しています。一方で、中東情勢を始めとして我が国経済の先行きに大きな影響をもたらす得る海外のリスク要因は引き続き存在し、同時に少子化・人口減少といった国内の構造的な課題も残っていることから、「成長型経済」への本格的な移行には更なる取組みの強化が必要であるとしています。

そこで、国は、長年続いてきた過度な緊縮志向や未来への投資不足といった流れを断ち切り、「責任ある積極財政」の考え方の下、民間投資の拡大による供給力の強化を経済規模の拡大や税収基盤の強化につなげ、「強い経済」と「財政の持続可能性」を一体的に実現するとしています。予算編成についても、デフレ・低成長時代の一律抑制型から、物価・賃金上昇を的確に反映し、経済の成長力強化と名目の経済規模拡大にふさわしい予算編成へと転換するとしています。

また、地方行財政については、人材の不足・偏在やデジタル技術の進展といった社会の変化の中でも、将来にわたり持続可能かつ最適な形で行政サービスを提供していかなければならないことを踏まえ、地方の一般財源総額を確保するとともに、官公需における適正な価格転嫁等の取組みを通じた強い地域経済の実現と、これを支える地方行財政基盤の持続性の確保・強化を図るとしています。

(2) 松本市の財政状況と今後の見通し

歳入の根幹をなす市税全体の先行指標と言える令和8年の地価調査（7月1日現在）において、松本市の商業地の平均変動率は4年連続で上昇しました。特に「えきまえエリア」の変動率は、活発な商業活動が下支えとなって大きく上昇しており、松本市の経済がしっかりとした基盤のもとで着実な成長を続けていることがうかがえます。

市税のうち、個人市民税については、令和8年の春闘において一定の賃上げが実現した

こと、長野県内の最低賃金が引き上げられたことなど、賃金の底上げ傾向が継続していることから、一定程度の伸びが期待されます。

また、景気動向を反映しやすい法人市民税等の法人関係税収については、企業の底堅い業績に支えられ、緩やかな増加傾向が維持されると見込まれます。一方で、中東情勢の不安定化に伴う原油・エネルギー価格の高騰や、コストプッシュ型インフレの再燃等のリスク要因も存在するため、今後の動向を引き続き注視していく必要があります。

歳出面では、義務的経費の縮減に向けて、これまで行政改革や事務事業の見直し等により、市を挙げて継続的に取り組んできており、一定の効果を上げています。特に公債費については、平成18年度からの縮減対策の結果、ピーク時と比較して単年度当たり20億円を超える削減を実現してきました。

一方で、人件費については、令和8年8月に示された人事院勧告に基づき、平均改定率3.3%の給与改定が予定されています。また、労務費の上昇や中東情勢の影響等による資材価格の高騰により、物件費が増加しており、建設事業や公共施設の管理等にも影響を及ぼしています。さらに、社会保障制度の充実等に伴い、扶助費も毎年数億円規模で増加しています。これらの要因が重なることで、歳出圧力は年々強まっており、今後もこの傾向が続くと見込まれます。

加えて、新庁舎建設などの大型事業の本格化や、ゼロカーボン・DXの推進といった新たな行政課題への対応により、初期投資費用（イニシャルコスト）及び維持管理費用（ランニングコスト）の継続的な増大が見込まれます。また、日本銀行による金融政策正常化に伴う金利の上昇は、基金運用等による財源確保の機会になる一方、市債の利子負担の増加要因にもなります。

こうした状況を踏まえ、既存事業の再構築・効率化により財源を捻出するとともに、税収等の伸びを有効に活用し、重要政策課題に対して必要な予算措置を講じていく必要があります。

3 令和9年度予算編成の基本的な考え方

物価上昇が続く社会においては、税収の増加が期待される一方で、行政コストも上昇することから、限られた財源を最適に配分し、市民の暮らしの質の向上と地域社会の持続的発展を両立させることが重要です。

また、少子高齢化と人口減少の進行に伴い、様々な分野で人材不足が生じており、地域活動を支える担い手の不足も顕在化しています。

さらに、物価高の影響が長期化し、地政学リスクや自然災害等の影響も相まって、社会経済情勢の先行きを見通すことが困難な、不確実性の高い時代を迎えています。

こうした状況を踏まえ、松本市が将来にわたって持続可能な都市として成長・発展していくために、令和9年度は、次の「4つの推進」を基本として予算編成を進めることとします。

(1) 第12次基本計画の着実な推進

基本構想2030に掲げる基本理念・行動目標のもと、「松本の地域特性を最大限に活かした循環型社会」、「一人ひとりが豊かさと幸せを実感できるまち」の実現に向けて全庁を挙げて取り組むものとしします。

「ゼロカーボン」と「DX・デジタル化」の2つの重点戦略に加え、取組みを強化すべき分野横断的な政策を4つの重視する視点として位置づけ、施策の推進を図る予算編成を行うこととします。

ア 若者と女性の挑戦と定着を支える社会基盤の構築

イ 学都松本にふさわしい学び環境の充実

ウ 暮らしの質を高める都市機能の強化

エ 新たな価値を創出する多様な産業の振興

(2) 総合戦略会議 重点協議事項及び「5つの挑戦」の推進

令和8年度の総合戦略会議における重点協議事項については、示された対応方針に基づき着実に取組みを進めます。また、(1)に掲げる重点戦略と、重視する視点を踏まえて整理した「5つの挑戦」の各項目については、部局横断的に検討し、具体化に向けた予算編成を行うこととします。

ア 総合戦略会議 重点協議事項

(ア) 「家庭を築く」希望の実現

固定的な家庭観や性別役割分担意識を見直し、「住まい」「しごと」に対する負担・不安を軽減することにより、意識や行動の変容を促し、20代での家庭形成につなげます。

(イ) 公共施設の集約化、多機能化

地域特性や核となる施設を見極めるとともに、将来的なニーズに即した行政サービスの再編に合わせ、集約化、多機能化など既存施設の最適化の検討を進めます。

イ 「5つの挑戦」

(ア) シン人口定常化

若者と女性の挑戦と定着を支える鍵となる、安心して働き、暮らし、学び、子育てができる社会基盤を構築し、世代間の人口バランスが取れた「人口定常化」にチャレンジします。

(イ) 学都価値創造

学びをまちづくりの中心に据え、保育から高等教育、生涯学習に至る学び環境の充実を図ることで、市民一人ひとりの成長や自己実現を支えます。

(ウ) 中枢都市機能

松本の顔である中心市街地の再設計を進めるとともに、魅力ある公共空間や利便性の高い交通ネットワークの整備、質の高い行政サービスの提供、自治組織の活性化促進により、人が集い、活動できる都市機能を強化することで、暮らしの質を高めます。

(エ) 産業創発

三ガク都の魅力を捉え直し、観光をはじめ、農業、ものづくり、文化芸術など多様な産業の活性化を図り、新たなまちの価値を創出します。

(オ) グリーン・デジタル

再生可能エネルギーの普及やグリーンインフラの整備、DXの推進によるデジタルシティの実現を図ります。

(3) 未来志向の戦略的投資の推進

松本市の将来を見据えた重点分野に積極的に投資することにより地域経済を活性化させ、税収の増加を通じてさらなる投資を可能とする「投資と成長の好循環」の創出を目指します。そのため、前例踏襲の発想を改め、投資効果と成果を重視する視点に立った予算編成を行うこととします。

ア 個々の施策や事業について、「松本市の持続的な発展・成長につながるか」「市民生活の向上にどう貢献するか」という視点から、投じた財源が生み出す便益や効果を見極め、

予算配分の判断基準とします。

イ 既存事業については、「全体最適」及び「未来に向けて何を残すべきか」という視点からその必要性を再検証し、見直しによって確保した財源・人的資源を、より必要性・優先度の高い施策や事業へ再投資します。

ウ 労務費の上昇、資材価格の高騰、資材調達の停滞等に伴う事業スケジュールの遅延が生じている状況を踏まえ、適正な価格の反映及び適正な工期の確保により、確実な事業執行を図ります。

(4) 責任ある行財政運営の推進

従来からの基本姿勢である「計画行政の推進」と「健全財政の堅持」を継続するとともに、中長期的な都市経営の視点に立ち、行政需要の高度化や社会経済構造の変化に的確に対応しながら、将来にわたり安定的で持続可能な、責任ある行財政運営を目指すことを基本として予算編成を行うこととします。

ア 実施計画の策定結果を踏まえ、施策や事業の優先順位付けにあたっては、部課長自らが市民に対して説明責任を果たせることを前提に、客観的根拠に基づく厳しい「選択と集中」を行い、予算の重点化を図ります。

イ 行政改革・行政評価の結果を予算に反映するとともに、指定管理者制度など民間活力の導入、A I の積極的な活用やD X ・デジタル化による業務の自動化・効率化に取り組み、市民サービスや業務の質の向上と行財政運営の効率性を追求します。

ウ 市債については、交付税措置のある有利な起債を最優先とし、将来の市民負担を抑制しつつ、計画的・戦略的な活用を進めます。

エ 国・県等の情報を的確に把握し、本市の施策に合致した国・県の補助負担金を積極的に取り込むなど、財源の確保に努めます。

オ ふるさとまつもと寄附金をはじめ、ネーミングライツなど新たな手法による財源の多様化に取り組むとともに、金利上昇局面を生かし、基金等の資金を能動的かつ機動的に運用することで、さらなる財源の確保に努めます。

庁 議 資 料
8. 1 0. 5
危 機 管 理 部

(報告事項)

令和8年度（第46回）松本市総合防災訓練の実施について

1 趣旨

松本市地域防災計画及び松本市国土強靱化地域計画に基づく松本市総合防災訓練を実施しますので、その内容について報告するものです。

2 訓練概要

- (1) 目的 防災関係機関等と市民が協働して訓練を実施し、本市の災害応急対策の確
認・改善を行うとともに、市民の防災意識と災害対応力の向上を図ります。
- (2) 日時 令和8年10月24日（土）10時～14時30分
- (3) 訓練会場 松本城、博物館、枅形広場（全般配置図は別紙1）
- (4) 主催 松本市
- (5) 参加機関・団体等

総務省信越総合通信局、国土交通省北陸地方整備局松本砂防事務所、防衛省長野地方協力本部、陸上自衛隊第13普通科連隊、長野県松本警察署、松本広域消防局、松本市消防団、松本市医療救護訓練実行委員会（松本市医師会、松本市歯科医師会等）、NTT東日本(株)長野支店、株式会社ドコモCS長野支店、中部電力パワーグリッド(株)松本支社、(株)豊炊飯、(株)テレビ松本ケーブルビジョン、エレコム(株)、テスコム電機(株)、(株)シバウラ防災製作所（※）、松本市社会福祉協議会、松本市赤十字奉仕団、松本市建設業協会、松本市水道事業協同組合、中信トラック協同組合、松本市電設業協会、松本ガス(株)、長野県隊友会松本支部、長野県消防機器協会中信支部、長野県警報設備協会中信支部、長野県動物愛護会松塩筑支部、松本アマチュア無線クラブ、エクセラン高校、藤沢市※は、新規参加

(6) 訓練想定

糸魚川－静岡構造線断層帯（全体）を震源とする大規模地震の発生により、松本市全域において被害が発生したとの想定で訓練を実施します。

- ア 発 災 令和8年10月24日（土）午前8時すぎ
- イ 震源地 糸魚川－静岡構造線断層帯（全体）松本市中央地区
- ウ 地震の規模 マグニチュード8
- エ 震度 松本市東部で最大震度7、松本市役所で最大震度6強

(7) 訓練内容（訓練会場配置図は別紙2－1～2－5）

- ア 中心市街地（お城周辺）の特性を踏まえた訓練（新規）

お城の観光客（外国人含む）を松本城公園の避難場所から指定避難所の博物館に避難誘導する訓練を大名町通り沿いの事業所等と連携して実施します。

※ 訪日客・外国人用防災アプリの利用促進、外国人の避難誘導方法等の啓発チラシ

も作成し店舗等に配布します。

イ 地域の守り手としてのインフラ事業者・防災機関の活動紹介とPR（新規）
各機関等の災害時の活動をPRし、担い手不足の解消、将来の人材確保につなげます。

ウ 防災意識と災害対応力を高める訓練

救護方法、土のう作成、避難所体験、降雨体験、地震体験等の体験型訓練により、市民の防災意識の向上、平時からの災害への備えを促進します。

エ 関係機関等による各種応急対策訓練

関係機関等の他機関・団体、住民等と連携した訓練により、顔の見える関係の構築と維持、災害対応力の向上を図ります。（市医療救護訓練、福祉避難所開設運営訓練は別会場で実施）

オ 災害対策本部員会議訓練

現地テントでの本部員会議で、災害状況、初期対応方針の共有を図ります。

カ 各部局訓練

総合防災訓練の一環として、各部局独自の訓練を当日又は別日程で行います。

3 参加人員等

(1) 関係機関等 約200名 ※地区住民の動員は行いません。

(2) 市職員 約80名

4 当日の服装

(1) 本部員・指揮本部員：防災服上下、ヘルメット、運動靴

(2) 上記以外：訓練に適した服装、防災ベスト、ヘルメット、運動靴

5 訓練の中止について

災害が発生又は発生の恐れがある等により、訓練の実施が困難であると総合的に判断した場合、中止とします。

6 プレスリリース、ホームページ、SNS、チラシ配布（別紙3）により周知します。

担当 危機管理課 課長 林 寛和 (内線2710)

令和8年度総合防災訓練会場配置図（その1 松本城公園）

別紙2-1



太

② 本部テント

トイレカー

③ テレビ松本

⑭ 信越総通ドコモ

⑥ 救護

⑮ 浄水

⑤ 無線
④ 隊友会

⑮ ボラセン

⑮ ペット

⑦ 一時集場所

⑦ 避難誘導

①

589.6

⑮ 給水

⑬ 中トラ

⑪ 水道

⑩ 電気

⑨ 建設業
⑧ 土のう

⑫ ガス

訓練項目	訓練実施者	実施時間	雨天
① シェイクアウト訓練	会場参加者	10:03	○
② 災害対策本部設置訓練	災害対策本部員（長：教育長）	10:10～10:20	○
③ 災害時放送訓練	テレビ松本ケーブルビジョン	10:20	○
④ 情報収集・伝達訓練	長野県隊友会	10:20～	○
⑤ アマチュア無線情報伝達訓練	松本アマチュア無線クラブ	14:20	○
⑥ 救護訓練	松本広域消防局	×	×
⑦ 観光客避難誘導訓練	文化観光部	10:30～	×
⑧ 土のう積み方訓練	松本市建設業協会	×	×
⑨ 小型器材操縦体験訓練	中部電力PG、松本市電設業協会	○	○
⑩ 家庭内電気復旧訓練	松本市水道事業協同組合	10:20	○
⑪ 水道復旧訓練	松本ガス	○	○
⑫ ガス復旧訓練	中信トラック協同組合	14:20	○
⑬ 物資輸送訓練	総務省信越総合通信局、ドコモCS	○	○
⑭ 通信機材関連の展示・体験	松本市社会福祉協議会	○	○
⑮ 災害ボランティアセンター設置訓練	松本市保健所、動物愛護会	×	×
⑯ 災害時飼育動物一時保護訓練	上水道課	○	○
⑰ 給水訓練	シバウラ防災製作所	○	○
⑱ 浄水訓練	松本市赤十字奉仕団、豊炊飯、自衛隊	～12:00	○
⑲ 給食訓練	松本市消防団	10:20	○
⑳ 放水体験	松本警察署	14:20	○
㉑ 消防車両展示	藤沢市	×	×
㉒ 警察災害車両展示	指揮本部、エクセラン高校	○	○
㉓ 地震体験車	指揮本部	○	○
㉔ 避難所訓練	指揮本部、エクセラン高校、NTT	10:20～	○
㉕ 多言語災害啓発動画	消防機器協会・警報設備協会、エレコム	14:20	○
㉖ 防災啓発ブース	松本広域消防局、消防団	○	○
㉗ 防災対策用品等の展示	国交省松本砂防事務所	○	○
㉘ 煙道体験	自衛隊長野地方協力本部	○	○
㉙ 土砂災害体験・降雨体験	医療救護訓練実行委員会		
㉚ 災害派遣活動パネル展示	健康福祉部		
㉛ 医療救護所訓練（別会場）			
㉜ 福祉避難所訓練（別会場）			



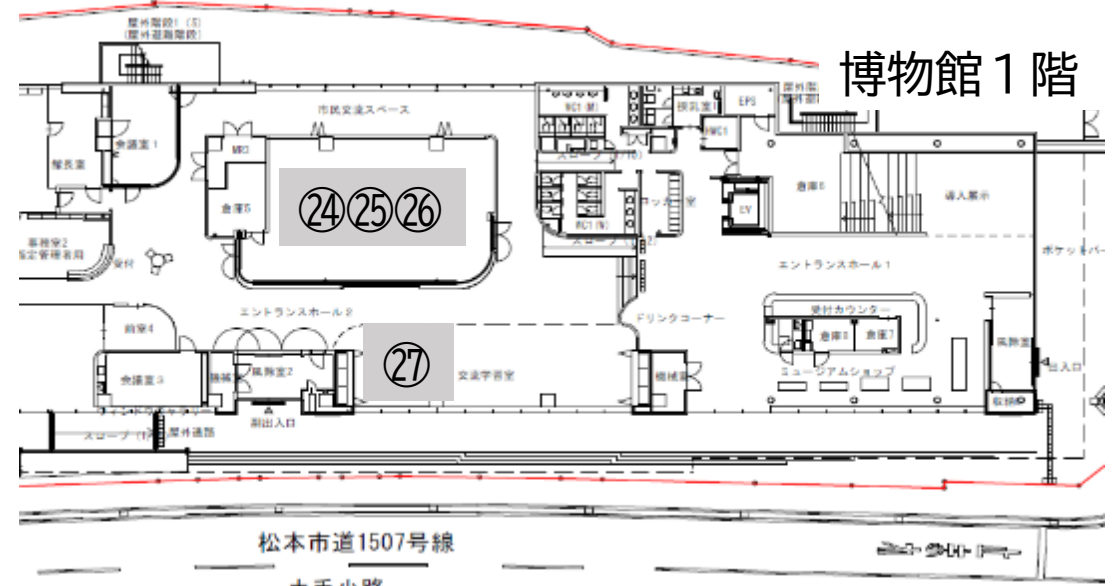
令和8年度総合防災訓練会場配置図（その2 外堀大通り）

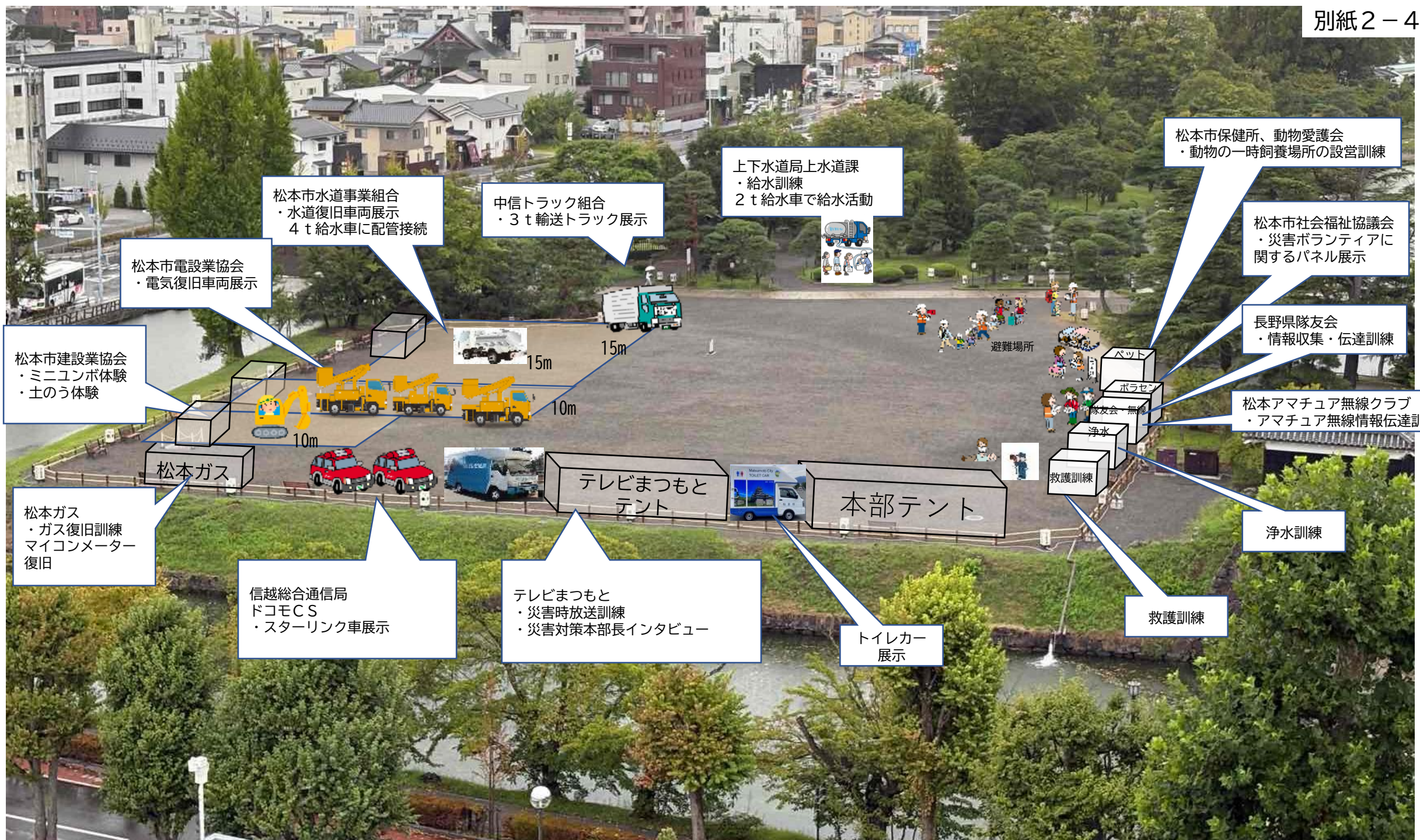
別紙2-2



訓練項目		訓練実施者	実施時間	雨天
①	シェイクアウト訓練	会場参加者	10:03	○
②	災害対策本部設置訓練	災害対策本部員（長：教育長）	10:10～10:20	○
③	災害時放送訓練	テレビ松本ケーブルビジョン	10:20～	○
④	情報収集・伝達訓練	長野県隊友会		○
⑤	アマチュア無線情報伝達訓練	松本アマチュア無線クラブ	14:20	○
⑥	救護訓練	松本広域消防局		×
⑦	観光客避難誘導訓練	文化観光部	10:30～	×
⑧	土のう積み方訓練	松本市建設業協会	10:20～14:20	×
⑨	小型器材操縦体験訓練			○
⑩	家庭内電気復旧訓練	中部電力PG、松本市電設業協会		○
⑪	水道復旧訓練	松本市水道事業協同組合		○
⑫	ガス復旧訓練	松本ガス		○
⑬	物資輸送訓練	中信トラック協同組合		○
⑭	通信機材関連の展示・体験	総務省信越総合通信局、ドコモCS		○
⑮	災害ボランティアセンター設置訓練	松本市社会福祉協議会		○
⑯	災害時飼育動物一時保護訓練	松本市保健所、動物愛護会		×
⑰	給水訓練	上水道課		○
⑱	浄水訓練	シバウラ防災製作所		○
⑲	給食訓練	松本市赤十字奉仕団、豊炊飯、自衛隊	～12:00	○
⑳	放水体験	松本市消防団	10:20～14:20	○
㉑	消防車両展示	松本広域消防局		○
㉒	警察災害車両展示	松本警察署		○
㉓	地震体験車	藤沢市	10:20～14:20	×
㉔	避難所訓練	指揮本部、エクセラン高校		○
㉕	多言語災害啓発動画	指揮本部		○
㉖	防災啓発ブース	指揮本部、エクセラン高校、NTT		○
㉗	防災対策用品等の展示	消防機器協会・警報設備協会、エレコム		○
㉘	煙道体験	松本広域消防局、消防団		○
㉙	土砂災害体験・降雨体験	国交省松本砂防事務所		○
㉚	災害派遣活動パネル展示	自衛隊長野地方協力本部		○
㉛	医療救護所訓練（別会場）	医療救護訓練実行委員会		
㉜	福祉避難所訓練（別会場）	健康福祉部		

訓練項目		訓練実施者	実施時間	雨天
①	シェイクアウト訓練	会場参加者	10:03	○
②	災害対策本部設置訓練	災害対策本部員（長：教育長）	10:10～ 10:20	○
③	災害時放送訓練	テレビ松本ケーブルビジョン	10:20 ～ 14:20	○
④	情報収集・伝達訓練	長野県隊友会		○
⑤	アマチュア無線情報伝達訓練	松本アマチュア無線クラブ		○
⑥	救護訓練	松本広域消防局	14:20	×
⑦	観光客避難誘導訓練	文化観光部	10:30～	×
⑧	土のう積み方訓練	松本市建設業協会	10:20 ～ 14:20	×
⑨	小型器材操縦体験訓練			○
⑩	家庭内電気復旧訓練			○
⑪	水道復旧訓練	中部電力PG、松本市市電設業協会	10:20 ～ 14:20	○
⑫	ガス復旧訓練	松本ガス		○
⑬	物資輸送訓練	中信トラック協同組合		○
⑭	通信機材関連の展示・体験	総務省信越総合通信局、ドコモCS	～12:00	○
⑮	災害ボランティアセンター設置訓練	松本市社会福祉協議会		○
⑯	災害時飼育動物一時保護訓練	松本市保健所、動物愛護会		×
⑰	給水訓練	上水道課	10:20 ～ 14:20	○
⑱	浄水訓練	シバウラ防災製作所		○
⑲	給食訓練	松本市赤十字奉仕団、豊炊飯、自衛隊		○
⑳	放水体験	松本市消防団	10:20 ～ 14:20	○
㉑	消防車両展示	松本広域消防局		○
㉒	警察災害車両展示	松本警察署		○
㉓	地震体験車	藤沢市	×	×
㉔	避難所訓練	指揮本部、エクセラン高校	10:20 ～ 14:20	○
㉕	多言語災害啓発動画	指揮本部		○
㉖	防災啓発ブース	指揮本部、エクセラン高校、NTT		○
㉗	防災対策用品等の展示	消防機器協会・警報設備協会、エレコム	10:20 ～ 14:20	○
㉘	煙道体験	松本広域消防局、消防団		○
㉙	土砂災害体験・降雨体験	国交省松本砂防事務所		○
㉚	災害派遣活動パネル展示	自衛隊長野地方協力本部	○	○
㉛	医療救護所訓練（別会場）	医療救護訓練実行委員会		
㉜	福祉避難所訓練（別会場）	健康福祉部		





松本市電設業協会
・電気復旧車両展示

松本市建設業協会
・ミニユンボ体験
・土のう体験

松本ガス
・ガス復旧訓練
マイコンメーター
復旧

信越総合通信局
ドコモCS
・スターリンク車展示

中信トラック組合
・3t輸送トラック展示

テレビまつもと
・災害時放送訓練
・災害対策本部長インタビュー

上下水道局上水道課
・給水訓練
2t給水車で給水活動



本部テント

トイレカー
展示

松本市保健所、動物愛護会
・動物の一時飼養場所の設営訓練

松本市社会福祉協議会
・災害ボランティアに
関するパネル展示

長野県隊友会
・情報収集・伝達訓練

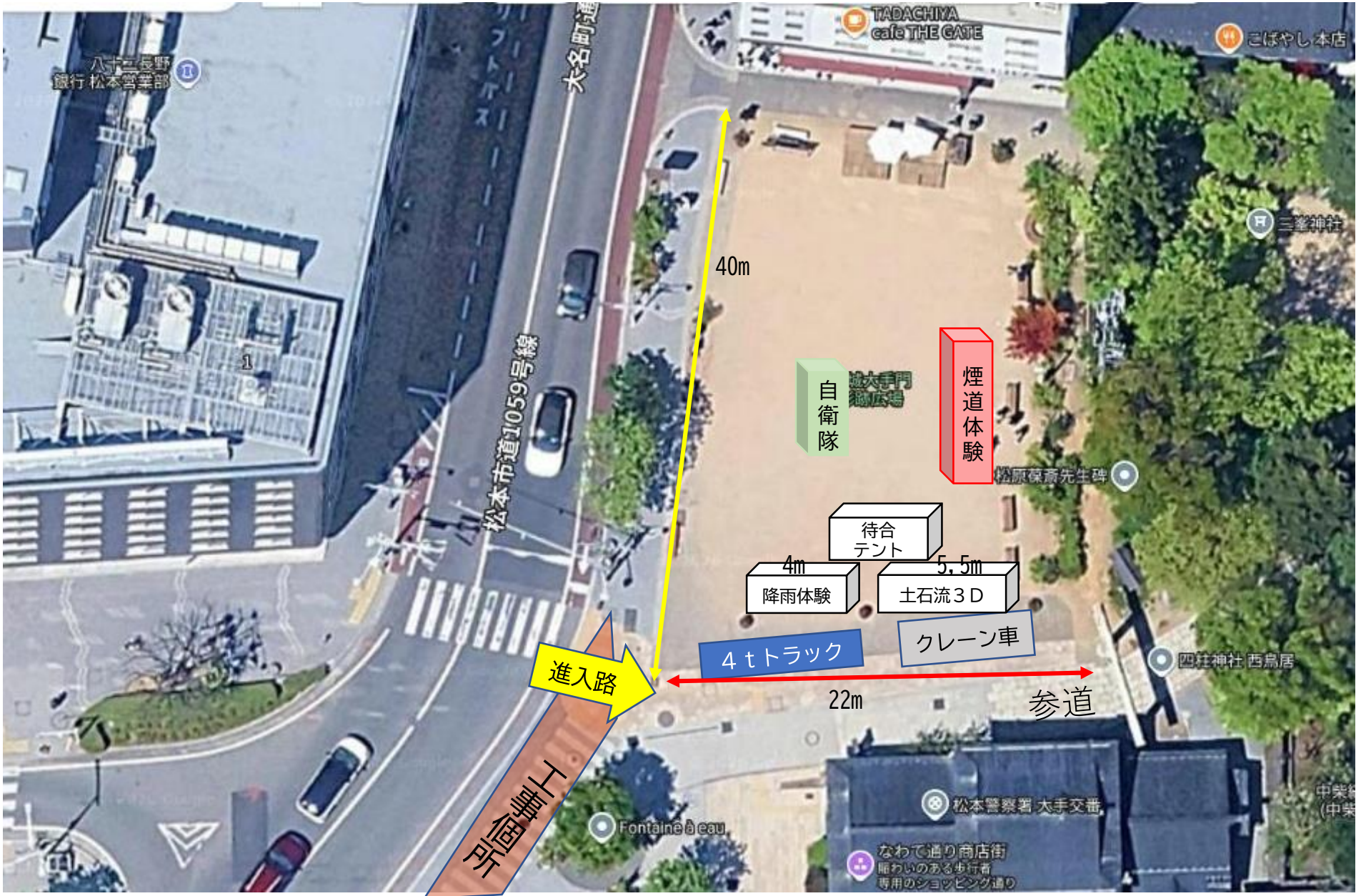
松本アマチュア無線クラブ
・アマチュア無線情報伝達訓練

浄水訓練

救護訓練

ペット
ボラセン
隊友会・無線
浄水
救護訓練

避難場所



2026年

10月24日(土)
10:00~14:30

松本市

総合防災訓練

みて！

ふれて！

まなぼう！

会場：松本城公園、外堀大通り、枳形広場、博物館

正解すると
景品もらえるよ

防災クイズ



降雨体験

炊き出し訓練
(試食あり)

防災グッズ展示



放水体験



避難所体験



給水体験



地震体験



お問い合わせ

松本市 危機管理課



0263-33-9119

※天候等により、規模を縮小・中止する場合があります。

詳細は
コチラ

訓練一覽

エリア	訓練項目	種類	時間	雨天時
松本城公園	災害時放送訓練、アマチュア無線情報伝達訓練、通信機材関連の展示・体験、プロの指導による訓練体験（小型器材操縦体験訓練）	体験見学	10:20～14:20	○
	インフラ復旧訓練（水道、ガス、家庭内電気、浄水）、物資輸送訓練、給水訓練			
	災害時のペット預かり訓練、災害ボランティアセンター設置訓練			×
	観光客避難誘導訓練（松本城から博物館へ移動）	体験	10:30～	×
外堀大通り	給食訓練（カレー試食12:00～）	体験	10:20～12:00	○
	消防団による子ども向け放水体験、警察災害車両、消防車両の展示	体験見学	10:20～14:20	○
	地震体験車（姉妹都市藤沢市から派遣）	体験		×
博物館	多言語災害啓発動画、防災対策用品等の展示	見学	10:20～14:20	○
	避難所訓練、防災啓発ブース（VR体験、防災クイズ）	体験		○
榊形広場	煙道体験、土砂災害体験、降雨体験	体験	10:20～14:20	○
	災害派遣活動パネル展示	見学		○



※会場に駐車場・駐輪場はありません。

当日は付近の道路で混雑が予想されるため、なるべく公共交通機関でのご来場をお願いします。

(報告事項)

庁 議 資 料
8. 1 0. 5
文化観光部

令和8年度松本市文化芸術表彰について

1 趣 旨

松本市文化芸術表彰要綱に基づく、令和8年度松本市文化芸術表彰の被表彰者について報告するものです。

2 被表彰者の選考について

令和8年9月10日開催の松本市文化芸術表彰選考委員会（委員長 伊佐治副市長）で、被表彰者の選考を行いました。

3 表彰内容及び被表彰名（プロフィール及び功績は別紙のとおり）

- (1) 文化芸術特別栄誉賞 ふりはた 降幡 ひろのぶ 廣信 氏（芸術・建築文化）
- (2) 文化芸術大賞 なつかわ 夏川 そうすけ 草介 氏（芸術・文学）
- (3) 文化芸術功労賞 はま 濱 かんじ 完治 氏（生活文化・工芸）
いそべ 磯部 あきこ 昭子 氏（芸術・写真）
ごとう 後藤 こうすけ 浩輔 氏・The BigBand of Music Toys（芸術・音楽）

4 表彰式典

- (1) 日時 令和8年11月3日(火・祝) 15時から約1時間程度
- (2) 場所 松本市美術館 多目的ホール
- (3) 観覧者募集 市公式ホームページ及びSNSに応募フォームのリンクを掲載

5 その他

- (1) 式典への被表彰者出席可否については調整中です。
- (2) 被表彰者を松本市公式ホームページ、SNS等により周知します。

担当 文化振興課
課長 武藤 美紀
(内線3150)

被表彰者のプロフィール及び功績

○ 文化芸術特別栄誉賞

ふりはた ひろのぶ
降幡 廣信 氏（芸術・建築文化）

安曇野市出身の建築家。松本第二中学校（現松本県ヶ丘高等学校）を卒業し、1963年に降幡建築設計事務所を設立。1982年に松本市の草間邸（築250年）再生建築をきっかけに「古民家再生」の概念を確立し、その功績が認められました。古民家に新しい命を吹き込み、家と文化を蘇らせる古民家再生を全国各地で行い、事務所と個人あわせて68の賞に輝きました。松本市都市景観賞も16回受賞されています。松本では「中町・蔵シック館」「かつ玄 麓庵」「和ダイニングしらかわ」など多くの建築に携わり、長年にわたって松本市の歴史的景観や建築文化の維持に大きく貢献してきました。

2018年、2019年に世界最大級の国際的なデザインコンペティションを2年連続で受賞し、国内では2025年に「文化庁長官特別表彰」を受賞しました。

○ 文化芸術大賞

なつかわ そうすけ
夏川 草介 氏（芸術・文学）

県内在住の小説家。現役医師として地域医療に携わりながら数々のヒットを生み出しています。2009年に松本市が舞台の『神様のカルテ』でデビュー。シリーズ累計は340万部を突破し、ミリオンセラーとなっています。2011年、2014年に映画化され、話題となりました。

現役の医師だからこそのリアルな「命の現場」や人々の優しさを紡ぐ情景描写が読者の心をとらえ続けています。最新作は『エピクロスの処方箋』で本屋大賞4位を獲得しました。

2026年6月からドラマ放送が開始した「勿忘草の咲く町で—安曇野診療記—」では舞台が梓川病院という名称で、ドラマの撮影が松本市でも行われました。

○ 文化芸術功労賞

はま かんじ
濱 完治 氏（生活文化・工芸）

松本市在住の藍染職人。創業115年「浜染工房」の3代目当主。

全国でも極めて希少な天然藍による「本藍型染め」の県内唯一の工房です。365日休みなく藍の温度や発酵状態を見守り、藍の管理、染色まですべての工程を一人で手がけています。伝統技法を守るだけでなく、現代の暮らしになじむ小物の作成や、地元の害獣として捕獲されたニホンジカの皮を染める「ジビエレザー染め」など新しい取り組みにも挑戦されています。

その一方で、本藍染の伝統を守るため市内の小中学校で積極的に体験授業などを実施し、文化の継承にも力を入れています。

いそべ あきこ
磯部 昭子 氏（芸術・写真）

10代を松本市で過ごした松本市に縁のある写真家。

大学在学中に「フィリップモリス・アートアワード2000」や「第18回写真『ひとつぼ展』」に入選し、早くから注目を集めてきました。卒業後は、フリーランスのフォトグラファーとして活動を開始。広告、ファッション誌、CDジャケットなどを手掛け、近年は映像作品を手掛けるなど多岐にわたり活動されています。

2021年には松本市美術館と松本PARCOの共同企画展「パルコde美術館」に参加し、松本市を舞台にした作品展示を行いました。2025年の松本パルコ閉店の際は、クリエイティブチームの一員としてポスタービジュアルの制作にも関わり、松本を題材とした作品制作や活動も積極的に展開しています。

2026年9月19日（土）～12月6日（日）まで松本市美術館で企画展「Sustainable World 佐藤大史・磯部昭子 ふたりの視点から」を開催しています。

ごとう こうすけ
後藤 浩輔 氏・ The BigBand of Music Toys （芸術・音楽）

後藤氏は The BigBand of Music Toys 代表者。本業の傍らバンドの運営全般を統括しています。子どもたちが賞にとらわれず、気軽に音楽を楽しめる場所として22年前に The BigBand of Music Toys を立ち上げました。運営にあたって、活動当初は自費で活動を支えるなど、松本での音楽活動に大きく貢献し、部活動地域展開の先駆けともいえる「地域で育てる」を実践してきました。また、ビッグバンドサミットの発起人として、松本で全国各地のビッグバンドを集めた大型のイベントを企画運営しています。

The BigBand of Music Toys は松本市を中心に活動する中高生のビッグバンド。スチューデントジャズフェスティバルで数々の実績がある一方、地域に音楽を届けることを目的として活動しており、松本の音楽文化の発展に貢献しています。